



国民の森林・国有林

中部森林管理局

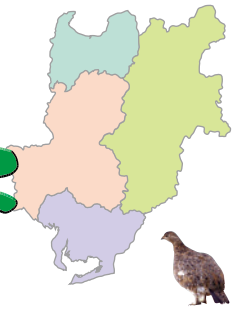
〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



完成した岐阜署新庁舎



局長や来賓によるテープカット



力強い木組みの事務室



大空間を確保する梁材



2011・国際森林年

木の暖かさ・美しさ・力強さを

コンセプトにした岐阜署新庁舎が完成

(P2~3に関連記事)

主な項目	○ 岐阜森林管理署の新庁舎が完成	P2~3
	○ 平成23年度中部森林管理局事業概要を公表	P3~5
	○ シリーズ現場最前線	P7
	○ 風景紀行	P8

長野県北部地震対応

城土局長が栄村を訪問

【北信署】平成二十三年三月十一日午後、三陸沖を震源とする大地震が発生し、長野県東信地方で震度5弱の揺れを観測、翌日の十二日未明には、長野県北部を震源とする地震が発生し、長野県栄村で震度6強、野沢温泉村で震度5弱の揺れを観測し、土砂崩壊、家屋の倒壊等の被害が発生し、多くの人が避難を余儀なくされることとなりました。

両地震における山地等の被災状況を確認するため、三月十二日から十三日にかけて、ヘリコプターにより上空からの調査を実施しました。十三日には、栄村から北信森林管理署に対してヘッドランプ十五個、ストーブ三個の貸与依頼があったことから、中部局の備蓄分等も含め提供。十四日には林野庁担当者、長野県担当者とともに現地調査を実施しました。



栄村島田村長と協議する城土局長ら

四月八日には城土局長が栄村を訪問し被災状況を視察するとともに、島田茂樹村長と山地災害の今後の対応策等について協議、意見交換を行いました。

また、同日栄村からの要請を踏まえ、飲料水及び灯油各二〇〇リットルを提供しました。



地震による被害状況を視察する局長

岐阜森林管理署の新庁舎が完成



【岐阜署】岐阜県下呂市小坂町の旧庁舎跡地で、平成二十二年十月五日に着手した岐阜森林管理署庁舎の新築工事が平成二十三年三月二十四日に竣工し、四月十五日、岐阜県や下呂市をはじめとする管内市町村、NPO法人などから多数の来賓の皆様をお迎えして落成見学会を行いました。

東日本大震災の直後ということもあり、式典は控え目にして、新庁舎の基本コンセプトである「木の暖かさ・美しさ・力強さ」を見学していただき、木造公共建築物のPRを主体にしたイベントとしました。

城土局長や来賓によるテープカットのあと設計・監理を担当した株式会社アレックスの案内・説明により、新庁舎の見学が行われ、来賓をはじめ見学者はしきりに感心されていました。

それでは今回の設計に当たり、検討を加えた点を挙げてみます。

◆木材（集成材）の使用

「森林管理署」という木を扱う機関にふさわしい木構造を採用し、柱や梁など主要構造材には集成材を使用することにより、鉄筋コンクリート造りや鉄構造に匹敵する程の強度を生み、事務室の広大な空間を確保すると共に、視覚的にも木の温もりが感じられ、落ち着きのある建物となりました。

使用されている多くの木材は持続可能な森林経営から生産された岐阜県産材としました。

◆事務室の大空間の確保

事務室を間口一〇メートル、奥行き二二・五メートルの大空間を確保するためには、事務室の中に柱を建てるか、壁に控え壁を設けるしかないとのことでしたが、集成材の特徴・利点を活かして、一五・四五センチの梁材を集成材で作製し、これにより大空

間を確保することができました。事務室には天井がなく、ふきぬけとなっていることから、屋根裏の力強い木組みが見て取れます。

新庁舎は、延べ床面積五二九平方メートルで、カラマツ集成材（柱・梁等の集成材）三四立方メートル、ヒノキ（土台、外部腰板等耐久性が必要な部材）八立方メートル、スギ（内部腰板、壁・天井下地等の内部造作材）五一立方メートル、合計九三立方メートルの木材を使用しています。

◆環境にやさしく

事務室や会議室ではLEDライトを採用することにより、CO₂の年間排出量約四分の一・消費電力約三分の一・電気代約四分の一など蛍光灯に比べ、地球環境への負担低減に貢献します。

また、LEDライトの寿命は蛍光灯の四〇倍で、交換の手間も省け、事務の軽減に役立ちます。

◆造作家具の設置

書籍・書類・事務用品等を収納するため署長室等にスギ集成材を使った造作家具を設置しました。

署長室の書棚はガラス戸を採用し、収納品等が見られるようにしました。事務室では窓下一面に設置し、使い勝手と収容量を考慮しました。

透明色の塗装としたので、スギの赤みと白みの変化が面白く、木の温もりが感じられると共に、経年変化による材色の変化も楽しみます。

(3) 平成 23 年 5 月



署長室の造作家具

◆外構

駐車場の一角には緑地帯を設け、署長宿舎敷に唯一残されていた、帝室林野局小坂出張所時代に植え付けられ、旧庁舎とともに八十年にわたり小坂営林署等の歴史を見つめてきたチャボヒバ一本を移植しました。

これは地元の要望に応えたもので、新庁舎とともに、岐阜森林管理署の将来を見守ってくれるものと感じています。

落成見学会終了後、岐阜森林管理署と社会貢献の森「サントリー天然水の森さふ東白川」の協定を結んでいるサントリーホールディングス株式会社シニアスペシャリスト山田健さんの記念講演「地下水を育む森づくり」があり、異分野のことも含めて分かりやすく楽しい内容に多くの参加者がうなずいていました。

「木の暖かさ・美しさ・力強さ」「環境



新庁舎と移植したチャボヒバ

にやさしく」をPRする機能的な新庁舎となったことから、これを起点として、さらに地域の発展に貢献できるように業務運営に努めていきたいと考えています。

平成二十三年度

中部森林管理局

事業概要を公表

「森林・林業の再生に向けた取組の推進」

四月二十二日、平成二十三年度中部森林管理局の事業概要について、記者発表を行い公表しました。

一 取組方針

中部森林管理局は、公益的機能の維持増進を旨として、一昨年十二月に公表された「森林・林業再生プラン」、こ

のプランの実現に向け昨年十一月に具体的な方策がとりまとめられた「森林・林業の再生に向けた改革の姿」等を踏まえ、「国民の森林」としての国有林野の管理経営や民有林との連携を推進しているところだ。

平成二十三年度については、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に向け多様な森林づくりを進めるとともに、森林・林業の再生に向け、搬出間伐・路網整備の加速化、国産材の安定供給体制の構築、木材利用の拡大などに率先して取り組むほか、森林共同施業団地の設定、人材育成のための研修フィールド・技術の提供など民有林との連携のより一層の推進を図ることとし、以下の項目などを中心に事業を実施していきます。

二 森林の有する公益的機能の持続的

発揮

管内の国有林野は、「日本の屋根」と呼ばれる日本アルプスを中心とした脊梁山脈や重要な水源地に広く分布していることから、安全・安心な国土管理の要として、国土保全・水源かん養・地球温暖化の防止等に果たす国有林野の役割や国民の期待等を踏まえ、森林の公益的機能の持続的発揮や地球温暖化の防止に取組みます。

(一) 国土保全や地球温暖化防止等に資する健全な森林づくり

— 森林整備事業等 —



列状間伐の実施 (南信署)

山地災害の防止、水源かん養等の公益的機能の発揮に加え、地球温暖化防止のための森林吸収目標の達成に向けて吸収源としてカウントできる森林を効率的かつ確実に増やすため、間伐等の着実な実施に努めるとともに、長伐期化、天然力を活用した針広混交林化など、多様で健全な森林づくりを推進します。

(二) 森林整備や木材利用を進めるための路網の整備—林道事業—

間伐等の森林整備に必要な路網を計画的に整備するとともに、材の搬出・利用を図る利用間伐の拡大に積極的に取組むため、開設コストの低い丈夫で簡易な路網の整備を加速化します。



長野県北部地震発生時に被災状況を確認 (北信署)



木製ガードレール等を設置した林道 (東信署)

**(三) 国民の安全・安心の確保のための
国土保全対策—治山事業—**

荒廃地の早期復旧等を図るため、間伐等により災害に強い健全な森林づくりを進めるとともに、集中豪雨や地震等により発生した崩壊地等を治山施設の整備により早期に復旧し、下流への被害を未然に防止します。

三 生物多様性の保全

貴重な森林生態系等を国民共通の財産として適切に保全・管理するため、保護林など優れた自然環境を有する森林の保全・管理、希少な野生動植物種の保護管理、野生鳥獣との共存に向けた取組等を推進します。



高山植物を保護する防護柵の設置 (東信署・南信署)

四 森林・林業の再生に向けた取組

低コスト・高効率作業システムによる利用間伐の推進、木材の安定供給及び木材利用の拡大に率先して取組むとともに、森林共同施業団地の設定や人材育成のための研修フィールド・技術力の提供等により、森林・林業の再生に向けた取組を推進します。

(一) 低コスト・高効率作業システムの普及・定着

素材生産請負事業における低コスト・高効率作業システムの普及・定着や、効率的な間伐や路網整備等に資する民間競争入札を導入します。

(二) 木材の安定供給及び利用の推進



高性能林業機械の活用 (岐阜署)

間伐等に伴い生産される材を安定的かつ円滑に販売するとともに国産材の利用拡大を図るため、透明性を重視して売払相手先を決定しつつシステム販売の協定を締結し、計画的な販売を推進します。また、木材の利用促進を図るため、庁舎や森林土木工事等における間伐材等の積極的な利用や、消費者に木材利用を呼びかける取組を推進します。

(三) 森林施業の共同団地化等による森林整備の推進

民有林と国有林が混在している地域等において、スケールメリットを活かし、より効率的な森林整備を進めるため、民有林関係者との森林整備の推進等に関する協定の締結や、これに基づき民有林・

国有林が一体となって路網の整備や間伐等の森林施業を行う「森林共同施業団地」の設定等に取組みます。

(四) 人材の育成

国有林のフィールド及び技術力を活用し、市町村森林整備計画の策定等市町村行政を支援する准フォレストや林業専用道技術者等の育成に取組みます。



人材育成のための研修会 (森林技術センター)

五 国民が森林とふれあう場等の提供

自然林養林等のレクリエーションの森について、地元協議会との連携・協力やサポーター制度の導入等による民間活力の活用により施設整備等に取組むとともに、これらを広く国民の皆さんに森林とふれあう場として提供し、森林の保健・文化・教育的利用を推進するとともに、観光等地域の振興に貢献します。また本

年は国連が定めた「国際森林年」であり、我が国のメインテーマである「森を歩く」に沿って、各署等で森林ウォーキングや植樹などのイベントを開催し、イベントカレンダーをホームページに随時掲載します。



「森林ふれあい講座」での湿原観察
(名古屋事務所・愛知所)

六 技術の向上

森林に対する多様化・高度化するニーズに対応するため、大学等とも連携して、森林施業技術等の開発・普及や技術の向上のための研修・技術検討会等を実施します。

七 透明性の高い形での国有林野の管理 経営の推進

森林計画の策定における地域に根ざした幅広い情報等の反映や国有林モニター



地域住民との懇談会の開催 (神通川森林計画区・富山署)

制度等を通じた国有林への要請等の反映など、国民の皆さんとの双方向での情報等の受発信により、透明性の高い形での国有林野の管理経営を進めます。

なお、平成二十三年度中部森林管理局事業概要につきましては、HPに掲載しておりますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

URL

<http://www.rinyamaff.go.jp/chubu/>

各地からのたより

「戸隠森林植物園」で 小鳥の巣箱かけ

長野市立戸隠中学校

「北信署」四月二十一日、長野市立戸隠中学校の二年生三十三名が、愛鳥週間に先駆け、長野市の戸隠森林植物園で小鳥の巣箱かけを行いました。

この巣箱かけは、同校が「身近な戸隠高原に生息する鳥類に興味を持ち、生態



自作の巣箱を手にする戸隠中学校2年生

について学ぶ」「自然に親しみながら動物の保護に関して理解を深める」ことを目的として昭和四十八年から実施している伝統行事で、今年度で三十九回目となります。

当日は晴天に恵まれ、春らしい陽気となりました。

生徒たちは、北信署職員から巣箱をかける高さや向きなどについて説明を受けた後、残雪に足をとられながらも一生懸命に林の中を歩き、「この木にしようかな」「こっちの方がいいんじゃないかな」と慎重に選んだ木に、班の仲間と協力して自作の巣箱を針金で固定しました。

同植物園は野鳥の宝庫として知られ、百種類以上の野鳥が観察されています。生徒たちが心を込めて設置した巣箱に、今年もかわいらしい小鳥たちがやってきて、生徒たちだけでなく、同植物園を訪れるたくさんの方の利用者を楽しませてくれることが期待されます。

「戸隠森林植物園」で

歩道整備ボランティア

長野林業土木協会北信分会

「北信署」四月二十一日、長野林業土木協会東北信支部北信分会会員二十九人が、二日後に開園を控えた長野市の戸隠森林植物園で歩道整備のボランティア活動を行いました。

この活動は同会が社会貢献活動の一環

として平成十八年度より実施しているもので、今年度で六回目となります。

まず最初に、バリアフリー歩道(約二キロ)の左右の支柱にグリーンロープを張りました。当日は暖かい日差しに恵まれたものの、前々日の降雪で歩道の一部には残雪があり、足元の悪い中での作業となりました。グリーンロープは、利用者の転落防止および湿地帯の植生保護を目的に設置していますが、冬期間は積雪によるロープや歩道の損傷を防ぐために取り外しています。

次に、歩道の雪かき、苔落とし等の清掃作業を行いました。歩道の苔は、利用者の転倒や木道の腐朽につながります。参加者はそれぞれスコップやデッキブラシを手にし、丁寧に作業を行っていました。中には汗をかき上着を一枚脱いで作



グリーンロープを張る会員の皆さん



田立の滝開き (安全祈願)

「南木曾支署」四月二十八日に田立の滝開き及び南木曾町・木曾森林管理署南木曾支署合同植樹祭を田立国有林において

田立の滝の滝開きを地域とともに祝う

業を続ける姿も見られました。

この作業は開園準備の重要な作業の一つで、利用者が安全に散策できるように、北信署職員の指導のもと全員で協力して作業を進めました。

これからの時期はミズバシヨウヤリユウキンカが美しく咲き始め、たくさん野鳥の姿も見られるようになります。今年も多くの方々に同植物園の自然を楽しんでいただきたいと思えます。



植樹するみどりの少年団員

て、南木曾小学校みどりの少年団をはじめ、町及び郡内から約百五十名が参加し、イロハモミジとミツバツジの植樹に汗を流しました。

合同植樹祭に先がけて、田立の滝開き安全祈願祭が三年ぶりに行われました。

田立の滝は「日本の滝百選」に選ばれていますが、平成十八年の豪雨災害等により山肌が被害を受け、危険があるため、平成二十年度から二十二年度まで入山禁止にして、復旧治山工事を三カ年にわたり行い、工事が完了したことから、通行規制の解除とともに今年一年間のにぎわいと安全を祈願しました。

植樹祭の式典では、南木曾小学校みどりの少年団の代表二名より「ヒノキの香りが大好き、植樹ができることがうれしい」「植えた木からいろいろな花が咲く

のが楽しみ」等といった作文発表の後、植樹作業が行われました。

今年「国際森林年」の年でもあり、会場にてパネルやのぼりの設置などを行い、本取組みのPRを行いました。

また、植樹祭終了後は南木曾小学校みどりの少年団を対象に森林教室を行い、田立の滝開きを行った田立の滝の自然散策を楽しみました。

これから多くの登山者が田立の滝を訪れることになり、植樹した木々が四季を通じて楽しませてくれます。

今後も地域との協働を継続して一体となつて事業に取り組む考えです。



植樹を終えて (みどりの少年団)

シリーズ
現場最前線

息を合わせて安全作業

〔東信署東部森林事務所班〕東部森林事務所は、長野県東御市の北山、新張山、和山国有林の三、八六〇鈔を管理しています。管内には、湯の丸山を中心になだらかな台地をなして広がる湯の丸高原があります。六月下旬にはレンゲツツジの大群落が一斉に咲き、また冬は湯の丸スキー場として、多くのハイカーやスキーヤーが訪れています。



境界保全作業中の東部班の2人

現場班は、基幹作業職員一名と再雇用の臨時作業員一名の少人数班ですが、東

部、和田、大門の三森林事務所の部内を事業区域としています。作業内容は、境界巡検をはじめ、収穫調査、森林保全管理、林道維持など多岐にわたっています。特に、国有地に接する箇所は、道路、民有地などが入り組み、境界の距離も長く、境界管理には気を遣っています。

現場作業に当たっては、毎朝、森林事務所に集合して体操を行ったあと、森林官とその日の天候や作業内容に応じた安全作業のミーティングをして、作業の段取り、安全の確認等をしつかり行うようにしています。

これからも災害のない明るい職場作りを目指して、チームワークよく、安全作業に取り組んでいきたいと考えています。



人のうごき

林野庁人事（抄）

五月十五日付

▽五月十五日退職（局企画調整室監査官（伊那谷総合治山事業所長））
渡邊 敬治

林野庁人事（抄）

五月十六日付

▽関東森林管理局森林整備部長（局計画部長） 川野 康朗
▽中部森林管理局計画部長（独）森林総合研究所総合調整室長 宿利 一弥
▽近畿中国森林管理局石川森林管理署長（局北信森林管理署長） 岡 義人
▽中部森林管理局北信森林管理署長（関東森林管理局会津森林管理署長） 嵯峨 端夫
▽中部森林管理局企画調整室監査官（伊那谷総合治山事業所長）（局森林整備部付（名古屋事務所）） 水野 拓郎
▽東北森林管理局計画部流域管理指導官（中部森林管理局企画調整室付） 小森 哲也

中部森林管理局人事

五月十六日付

▽中部森林管理局出向（飛騨森林管理署流域管理調整官へ）（林野庁国有林野部業務課災害対策班災害調整係長） 日置 順昭

▽岐阜森林管理署総務課付（岐阜署業務第一課長） 所附 泰幸

▽岐阜森林管理署業務第一課長（岐阜署総務課総務係長） 砂留 直浩

▽東北森林管理局出向（米代東部森林管理署上小阿仁支署業務第一課経営係長へ）（富山署業務課付） 鈴木 正晃

行事・会議等の予定

◎会計実地検査

6月6日～10日 局ほか

◎名古屋シティ・フォレスター事業

6月8日 岐阜署管内

◎森林ふれあい講座

6月11日 愛知所管内

◎長野県植樹祭

6月11日 長野県塩尻市

◎流域管理調整官会議

6月21日・22日 木曾署管内

▽中部森林管理局計画部計画課長（近畿中国森林管理局計画部計画課長）
山口 輝文

川浪亜紀子

▽林野庁国有林野部管理課監査官（東北森林管理局森林整備部（宮城北部署駐在）兼任）（局計画部計画課長）

小森 哲也

▽中部森林管理局企画調整室監査官（伊那谷総合治山事業所長）（局森林整備部付（名古屋事務所））

水野 拓郎

▽東北森林管理局計画部流域管理指導官（中部森林管理局企画調整室付）

小森 哲也

▽林野庁国有林野部管理課監査官（東北森林管理局森林整備部（宮城北部署駐在）兼任）（局計画部計画課長）

川浪亜紀子

▽中部森林管理局計画部計画課長（近畿中国森林管理局計画部計画課長）

山口 輝文

ふう けい き こう
風景紀行
越中八尾
 73
 富山森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

おわら風の盆と白木峰

〔富山署〕富山市八尾地区(旧八尾町)市街地は、富山県のほぼ中央に位置し、古くは「富山藩の御納戸」と称されるほど豊かな町で、飛騨との交易や越中売薬などで栄えてきました。町内には、江戸



おわら風の盆

時代のたたずまいを残す古い町並みがあり、諏訪町通りは日本の道百選に選定されています。また、町並みを歩くと道の両側には火防・流雪用水路「えんなか」と呼ばれる用水があり、水の奏でる音は、日本の音風景百選に選定されています。この八尾地区では、毎年九月一日から三日にかけて全国から二十万人以上の観光客が訪れる「おわら風の盆」が開催されます。この祭りが行われる二百十日の前後は、台風が来ることが多く、昔から収穫前の稲が風の被害に遭わないよう、豊作祈願が行われ、この祭りが「風の盆」と言われていたそうです。

踊り手たちが洗練された踊りを披露し、越中おわら節に哀調ある胡弓の音色が添えられ、来訪者を魅了します。八尾地区の南部、岐阜県飛騨市河合との県境には野積国有林があり、白木水無県立自然公園に指定されています。白木峰の山頂一帯は、ゆるやかな起伏の草原で散策道が整備され、ハイキングや自然観察を楽しめます。ニッコウキスゲ、コバイケイソウ、イワイチヨウなどの高山植物が開花する六月中旬から七月中旬頃が一番の見頃です。山頂から木道を歩いていくと高層湿原(池塘)を見ることが出来ます。一の池、二の池、三段の池、消滅の池があり、木道の終点には「浮島の池」と呼ばれる池塘があります。白木峰の標高は一、五九六メートルあります



白木峰から浮島に至る登山道(野積国有林)

が、標高一、三五〇メートルに駐車場があり、山頂までは一時間ほどで行くことができます。



浮島の池(野積国有林)

◆アクセス

八尾市街へは、富山ICから車で三〇分

白木峰登山口駐車場までは、八尾町市街地から車で五〇分

【周辺散策】

八尾市街
 坂の町美術館、越中八尾観光会館(曳山展示館)、八尾おわら資料館

白木峰周辺

仁歩ほたるの里、大長谷(おおながたに)温泉、杉ヶ平キャンプ場、二世紀の森など